

小児心臓外科

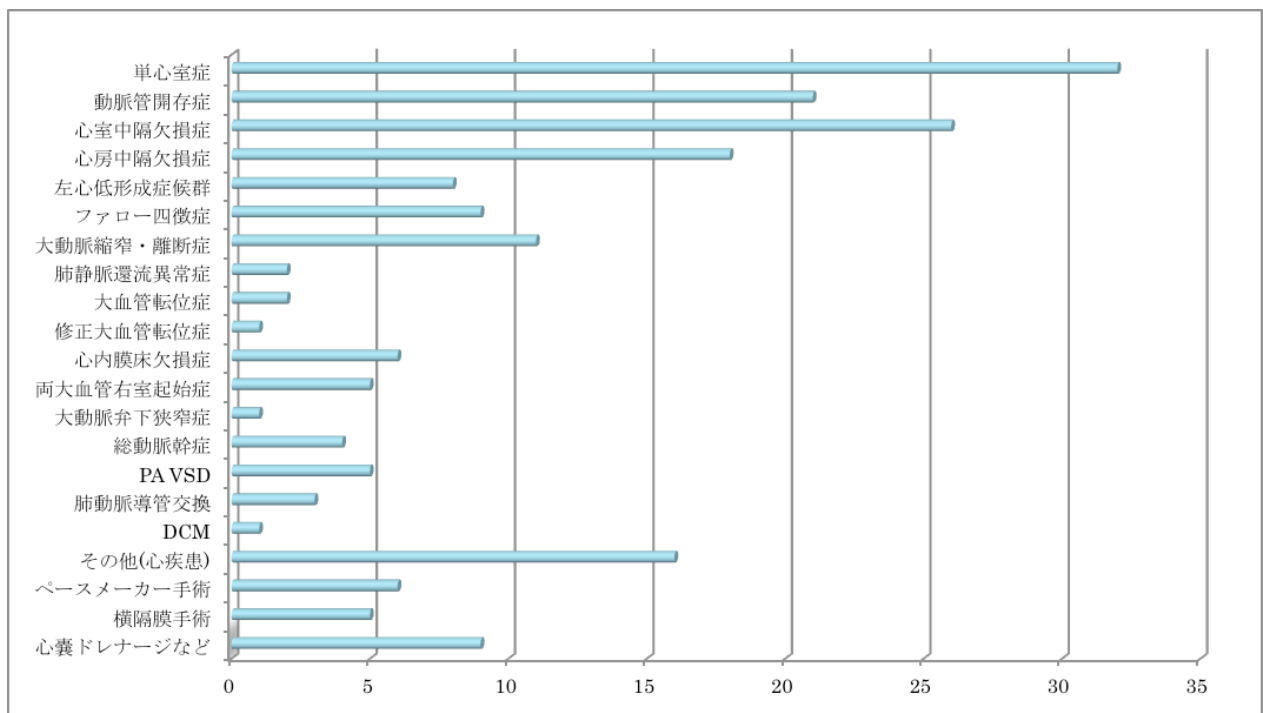
○ 小児心臓外科の概要

1. 小児心臓外科の特色

当科は埼玉県内に2ヶ所しかない先天性心疾患の外科治療を専門としている診療科の一つであり、複雑先天性心疾患に対する外科治療を主に行なっている。また成人先天性心疾患に対する外科治療や、小児専用体外式補助人工心臓植え込み手術も行っている。これらの重症患児への専門的な治療や、小児症例だけではなく近年増加傾向にある成人先天性心疾患症例の集中治療も多く経験できる。手術手技では小児症例の胸骨正中切開法ならびに閉胸法を術者として経験する事が可能となっている。術後の集中治療管理では手術症例に対する末梢 Line、中心静脈カテーテル、動脈針の挿入を術者として経験することが可能で、術後には、集中治療室にて胸腔ドレーンなどを自ら挿入することができる。この集中治療室での研修では、先天性心疾患心臓手術後特有の血行動態を確実に評価・対応ができるようになり、また小児 IVH 管理を含む全身管理法や、ECMO などの補助循環治療法を理解・習得することができる。

2. 診療実績

2016 年の全手術症例数は 191 例である。新生児期(生後一ヶ月まで)での手術数は 37 例、乳児期での手術は 91 例となった。また川越市にある埼玉医科大学総合医療センターNICU や埼玉医大病院 NICU へ、当院より小児心臓外科医が出向き行っている極小未熟児(出生体重 1500g 以下)動脈管開存症手術は 10 例である。単心室症などの重症疾患が多いのが特徴である。



3. 診療・教育スタッフ

鈴木 孝明 (診療部長・教授) : 先天性心疾患の治療
枅岡 歩 (副診療部長/病棟医長・准教授) : 補助人工心臓治療・成人先天性心疾患の治療
保土田 健太郎 (外来医長・助教) : 先天性心疾患の治療

4. 研修責任者と臨床研修指導医、上級医 (指導者)

研修責任者 : 鈴木 孝明 (診療部長)
臨床研修指導医 : 鈴木 孝明、枅岡 歩
上級医 (指導者) : 保土田 健太郎、岩崎 美佳

5. 臨床研修プログラムの特色

先天性心疾患を合併した症例のプライマリーケアには、先天性心疾患に対する基礎的な知識が要求さ

れることが多い。このため、医師臨床研修制度の研修目標の他に、プライマリーケアを行う臨床医として習得すべき先天性心疾患に対する基礎的な知識を取得するためのプログラムである。また、外科専門医・心臓血管外科専門医・小児科医・小児循環器専門医を目指す研修医にとってはその基礎となる研修プログラムとなっている。

6. 経験目標・到達目標

一般目標 (G10)

様々な病態に対応が出来る臨床医に必要な基本的な知識・臨床能力を習得するために、代表的な先天性心疾患の診断とその外科的な方法を含む治療法の実験を経験する。

行動目標 (SBOs)

1. 先天性心疾患患者の問診、理学所見がとれる。
2. 先天性心疾患患者に必要な検査及び治療計画を立てることが出来る。
3. 小児患者を含む先天性心疾患患者の心電図及び胸部 X 線写真の読影が出来る。
4. 心臓カテーテル検査及びそのデータを理解し、診断が出来る。
5. 心臓エコー図検査での正常解剖を理解し、先天性心疾患患者の心エコー図が理解できる。
6. 小児患者を含む心臓手術の消毒法が出来る。
7. 開胸、閉胸操作の第一助手が出来る。
8. 基本的な皮膚縫合操作ができる。
9. 上級医師の指導下に小児患者の末梢 Line、動脈針の挿入が出来る。
10. 上級医師の指導下に CVP の挿入を経験する。
11. 上級医師とともに先天性心疾患患者の外科手術に助手として参加することが出来る。
12. 上級医師の指導下に先天性心疾患患者の心臓術後管理を経験する。
13. 上級医師の指導下に小児例を含む先天性心疾患患者の気管内挿管・抜管をすることが出来る。
14. 上級医師の指導で心肺蘇生法ができる。

研修の方略

ICU と病棟は教授以下のスタッフ、助教、研修医、ベッドサイド学生の全員が一つのチームとして臨床にあたる。さらに各研修医にはスタッフ医師が指導医として直接に指導にあたる。平日は朝 7 時 15 分から小児心臓科と合同で ICU および病棟の回診を行っている。火曜日の午後は小児心臓科・小児麻酔科部門との合同カンファレンスを行い、手術適応に関し症例検討を行っており、また金曜日午後には体外循環技師との他職種カンファレンスを行い、次週の体外循環設定を含めた詳細な術式の検討を行っている。このようなカンファレンスだけではなく、研修医は指導医に対し治療方針について自由に討論できる体制を取っている。特に研修医にはカンファレンスにおいて患者の症例提示が適切にできるように指導している。研修医には術後管理だけではなく、積極的に手術に参加できるように配慮している。その他、救急処置に必要なカテーテル類の挿入手技や術後の全身管理も指導している。

到達目標と評価表 (1ヶ月間研修した場合)

【評価 A: 可 B: 不可】	自己評価	指導医評価
1. 先天性心疾患患者の問診、理学所見がとれる。	()	()
2. 先天性心疾患患者に必要な検査及び治療計画を立てることが出来る。	()	()
3. 小児患者を含む先天性心疾患患者の心電図及び胸部 X 線写真の読影が出来る。	()	()
4. 心臓カテーテル検査及びそのデータを理解し、診断が出来る。	()	()
5. 心臓エコー図検査での正常解剖を理解し、先天性心疾患患者の心エコー図が理解できる。	()	()
6. 小児患者を含む心臓手術の消毒法が出来る。	()	()
7. 上級医師の指導下に小児患者の末梢 Line、動脈針の挿入が出来る。	()	()

到達目標と評価表 (2ヶ月目以上研修した場合)

【評価 A: 可 B: 不可】	自己評価	指導医評価
1. 先天性心疾患患者の問診、理学所見がとれる。	()	()
2. 先天性心疾患患者に必要な検査及び治療計画を立てることが出来る。	()	()
3. 小児患者を含む先天性心疾患患者の心電図及び胸部 X 線写真の読影が出来る。	()	()
4. 心臓カテーテル検査及びそのデータを理解し、診断が出来る。	()	()

5. 心臓エコー図検査での正常解剖を理解し、先天性心疾患患者の心エコー図が理解できる。	()	()
6. 小児患児を含む心臓手術の消毒法が出来る。	()	()
7. 開胸、閉胸操作の第一助手が出来る。	()	()
8. 基本的な皮膚縫合操作ができる。	()	()
9. 上級医師の指導下に小児患児の末梢 Line、動脈針の挿入が出来る。	()	()
10. 上級医師の指導下に CVP の挿入を経験する。	()	()
11. 上級医師とともに先天性心疾患患者の外科手術に助手として参加することが出来る。	()	()
12. 上級医師の指導下に先天性心疾患患者の心臓術後管理を経験する。	()	()
13. 上級医師の指導下に小児例を含む先天性心疾患患者の気管内挿管・抜管をすることが出来る。	()	()
14. 上級医師の指導で心肺蘇生法ができる。	()	()

7. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
7:15~	ICU 回診	ICU 回診	ICU 回診	ICU 回診	ICU 回診	ICU 回診
8:00~	手術	手術	手術	手術	手術	
午後手術終了後、 随時		術前・術後 合同カンファレンス (小児心臓科・外科・ 小児心臓麻酔科)			翌週の手術症 例カンファレンス(他 職種カンファ レンス) ・心臓血管外科 と合同抄読会 (1回/月)	
18:00~	ICU 回診	ICU 回診	ICU 回診	ICU 回診	ICU 回診	

8. 研修に関する問い合わせ先

〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1
 埼玉医科大学国際医療センター 心臓病センター
 小児心臓外科 鈴木 孝明 (診療部長、教授)
 TEL: 042-984-4584
 E-mail: tksuzuki@saitama-med.ac.jp
 HP: <http://www.saitama-med.com/ped-card-surg/>